

131 さかきまつり
榊祭



指 定 市無形民俗文化財 昭和61年 9 月10日
 所在地 望 月
 所有者 望 月 区



望月は満月をさす。榊祭の行なわれる 8 月15日は、陰暦中秋の名月である。朝、榊神社で祭の安全を祈る祈願祭が行なわれ、昼間は子ども御輿が出る。あたりが薄暗くなる 7 時を期して松明山にかがり火が焚かれ、炎が夜空を焦がすと、数百人の掲げるたいまつが山を駆け下り、弧を描いて鹿曲川に投げ込まれる。やがて太鼓と笛の音に合わせ、獅子舞が街に繰出し、続いて腹掛け姿の若者がかつぐ御輿が登場する。道を走り、止まっては地面にたたきつけ、グルグル廻し、上に人を乗せて横倒しになる。御輿に向ってバケツの水がかけられる頃は、祭も最高潮である。榊祭がいつに始まったのかは定かでないが、この獅子舞は鎌倉から室町に流行した田楽の流れを汲むものと思われ、団扇をかかげて叫ぶ様は、戦いに勝った喜びとも雨乞の踊りともいわれる。野性的な火祭として全国にも知られる。